

Vol. 71
新春号

謹賀新年

2025

会長あいさつ



公益社団法人 飯塚法人会
会長 樺島典仁

目次

- 1P
法人会会長あいさつ
- 2P
飯塚税務署長新年ごあいさつ
令和6年度飯塚税務署長納税表彰
- 3P
青年部会活動
- 4P
女性部会活動
- 5P
「税に関する絵はがきコンクール」
入賞作品
- 6P
福岡国税局長感謝状授与
- 6-7P
高校生「税に関する作文」
入賞者、作品
- 8-9P
中学生「税に関する作文」
入賞者、作品
- 10-11P
飯塚税務署からのお知らせ
- 12P
飯塚法人会のご案内

あけましておめでとうございます。新しい年が会員の皆様方にとって幸多からん事を心よりお祈り申し上げます。どうか本年もよろしくお願ひ致します。

さて、法人会は税のオピニオンリーダーとして、より良い経営を行い、納税意識の高揚と、社会に貢献する経営者の団体です。会長として、この理念に即した会の運営を志しますので、ご支援、ご協力を切にお願い致します。

又、現在の正会員数は987社ですが、会員の増強にも合わせてご協力をお願いします。

国の財政は、新型コロナウイルス禍の危機を乗り越えるために大規模な財政出動が講じられた後、政府の財政運営が平時に向けて転換したとは言いがたい。コロナ危機対応が終了しても、今度は物価対応策を名目とする新たな補助政策が次々に講じられ、出口戦略は明確に示されていない。こうした情勢下で国債発行という借金類みの財政運営が漫然と続けられているのは問題である。財政健全化に向けて財政規律を回復させることは、安定的な経済成長と日本経済の持続可能性を高めるためにも国家的な課題であると認識するべきである。

次に、地元の経済動向は新飯塚駅周辺の開発が進み、活気に満ちあふれています。飯塚駅周辺もゆめタウンが開業し、マンションの建

設も数か所で計画されています。駅回りの再開発が計画され周辺の繁栄が期待されます。この様なことが、幸いしたのか「本当に住みやすい街(駅)大賞」で千早、博多南に次いで新飯塚が見事、三位にランクインしました。この事で、街のイメージがアップして定住者の増加が期待されます。何とか我々地元企業もフォロワーの風に乗って行きたいものです。

事業としては12月6日にコスモスモンで青年部会による「こどもくらしっくコンサート」が開催され管内小学校6年生18校1,000名の参加がありました。また、女性部会による「税に関する絵はがきコンクール」は管内小学校6年生17校910名の応募がありました。何れもコロナ禍前の規模で開催されました。

この様な社会貢献活動が認められ、昨年11月に福岡国税局長より感謝状を授与されましたが、これも僅に飯塚税務署、行政、学校など、関係者のご協力の賜物であり感謝申し上げます。また、女性部会そして青年部会の皆様におかれましては、引続きご尽力いただきますようお願い致します。

最後になりますが、法人会活動を通じて会員の皆様方の会社が益々繁栄されることを心より願います。

新年のごあいさつ

飯塚
税務署
長
城
島
陽
一



新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人飯塚法人会の会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

旧年中は、飯塚法人会の役員の方々並びに会員の皆様方には、税のオピニオンリーダーとして税務行政全般に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、飯塚法人会におかれましては、租税教育推進活動の功績を称える「租税教育推進団体」としてのご受賞、誠にありがとうございます。

私も「子どもくらしっくコンサート」を拝見させていただきましたが、子どもたちが税金クイズに一生懸命取り組む姿や演奏を楽しむ姿を見て、嬉しくなるとともに飯塚法人会が誇るべき地域貢献行事であると深く感じた次第です。

また、租税教室と併せて実施いただいている「絵はがきコンクール」についても、年々応募数が増加しているとのことで、子どもたちが税金について考える場を提供いただくだけでなく、各種機会を通じて全作品を展示いただくなど地域全体の関心を惹く素晴らしい取組だと感じております。

さて、令和6年1月から国税庁ホームページに掲載するなどの方法により周知・広報しておりますが、本年1月から、申告書等の控え用の書面への収受日付印の押なつを行わないこととしております。これは、税務行政のデジタル化における手続きの見直しの一環として実施するものですので、皆様方におかれましては、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、間もなく令和6年分の所得税・贈与税等の確定申告の時期を迎えます。

国税庁では、マイナンバーカードを活用したe-Taxの普及及びスマホ申告の推進を掲げています。飯塚法人会の会員の皆様方におかれましては、御自身で所得税の確定申告をされる際には、スマートフォンを使用して申告を行っていただきますようお願いいたします。

最後に、新しい年が飯塚法人会及び会員の皆様方並びに会員御家族の皆様方にとりまして明るく健康で幸多い年になりますよう、心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

令和6年度 飯塚税務署長納税表彰

昨年11月に公益社団法人飯塚法人会役員など4名に署長表彰、署長感謝状が授与されました。署長表彰は、国税の申告と納税及び租税教育等に関して、功績顕著な団体又は個人等を顕彰されるものです。また、署長感謝状は、国税についての申告、納税、租税教育その他納税思想の高揚若しくは税務行政の推進に功績があった個人、法人及び団体等に贈呈されるものです。何れも城島税務署長が、各事業所を訪問のうえ、表彰状、感謝状を贈呈されました。



税務署長 納税表彰



公益社団法人 飯塚法人会
副会長

宮嶋 寛幸

税務署長 納税表彰



公益社団法人 飯塚法人会
常任理事

坂口 高昭

税務署長 感謝状



公益社団法人 飯塚法人会
常任理事

小笠原 真照

税務署長 感謝状



公益社団法人 飯塚法人会
女性部会 副部会長

神田 照子

青年部会 活動

第22回 こどもくらしっくコンサート

本年度も12月6日(金)にコスモスコモン大ホールにて、「こどもくらしっくコンサート」を盛大に行うことができました。会場を埋め尽くすお申し込みをいただき誠にありがとうございました。

当日は、絵はがきコンクールの紹介から始まり、税金クイズでは大きな盛り上がりを見せ、地域の方々に我々の活動を紹介することが出来たと感じております。

また、嘉穂高等学校吹奏楽部のコンサートはイントロクイズなど来場者を巻き込み終始、笑顔の絶えない内容でした。クラシックコンサートを肌で感じ、自然とリズムに乗る来場者を目にする、今度も継続して行いたいという思いが芽生えた次第です。

青年部会長 深田 陵市



第38回「法人会全国青年の集い」福井大会

福井の地で開催された第38回「法人会全国青年の集い」に参加してまいりました。私自身、福井の地は初めてでしたが、他地域の法人会青年部メンバーとも交流ができた大変有意義で得るものが多い大会でした。

租税教育活動プレゼンテーションや健康経営大賞では、全国各地の活動内容を知ることが出来、飯塚でも取り入れていきたいと感じた次第です。

会員交流分科会においても同様、各地の活動内容を共有でき、刺激を受けて参りました。飯塚の活動内容も全国に負けず劣らず価値ある内容であると、改めて誇りを感じ飯塚法人会の更なる発展を期待しました。

青年部会理事 寺濱 剛史



租税教室の講師を務めて

法人会青年部に入会し、法人会が租税教育を各小学校で行っていることを知りました。私が生涯のうちに、教壇に立ち、地域の児童に向けて授業をやるなんて夢にも思っていませんでした。初めて尽くしの経験でしたが、児童に税金の使われ方や納税の必要性を伝えることによって、私自身改めて税について考えさせられました。

我々の納める税金が国を支えている、誰かの役に立っていると、身の引き締まる思いでした。

青年部会 樺島 玄陽



女性部会 活動

■ 中学生の「税に関する作文」の第2次審査会に参加して

令和6年9月25日(水)飯塚税務署にて、飯塚法人会女性部会員7名が、令和6年度中学生「税についての作文」2次審査を行いました。

飯塚税務署管内の中学生3年生を対象に参加された作品の中より、第1次審査を通過した15作品の審査を構成・独創性・共感・理解度の4項目で各10点、40点満点で採点を行いました。

小学校の租税教室で学んだ生徒が、こんなにも成長してくれたと親心にも似た気持ちで読みました。作品の多くは、身近な所から税金に気付く考察された力作揃いで、点数を付けるのは大変悩ましい時間となりました。

副部長 神田 照子

■ 租税教室に参加した子ども達

令和6年度の租税教室も子ども達は、真剣な目をして聞いてくれました。とっても、感動しました。ビデオを見てからは、自分達の買い物や色々なところに税金がかかっていることに、すごく興味を持っているようでした。また、「税金がなかったら大変だなー」との声が聞こえてきました。

廊下で待っているときに、子どもさんたちが「ご苦労さま」とか「お疲れさま」と声をかけていただきました。中には会社の前を通って通学している子どもさんが教室を出るときに手を振ってくれました。今年も租税教室に参加したいと思っています。

理事 本松 真澄



■ 第15回「税に関する絵はがきコンクール」審査会

女性部会では、租税教育の一環として、管内の小学校6年生を対象に「税に関する絵はがきコンクール」を行っています。

租税教室などを通じて、「税の大切さ」や「税の果たす役割」について学んでもらい、その知識や感想を「絵はがき」にすることで、税に対する理解をより深めてもらうことが目的です。

今年度は、飯塚税務署管内の小学校17校から910点の応募がありました。

12月18日(水)に飯塚税務署会議室において審査会を開催し、原田敬規飯塚美術協会会長、城島陽一飯塚税務署長、平川俊昭飯塚租税教育推進協議会長並びに飯塚法人会の榊島典仁会長、深田陵市青年部会長、堤由美子女性部会長をはじめ、女性部会役員の皆さんなど、16名で厳正に審査しました。

最優秀賞に選ばれた穂波東小学校の岩崎琉亜さんの作品他、全応募作品を飯塚信用金庫本店並びに鯉田・幸袋・孤田・相田・穂波・筑穂桂川支店、嘉麻市役所、桂川町役場に1月15日(水)から1月31日(金)まで展示していただきました。また、イオン穂波店にも2月1日(土)～2月11日(火)まで全作品を展示します。引き続き、飯塚税務署(飯塚合同庁舎)に2月17日(月)から3月17日(月)まで展示しますので、是非多くの方に見ていただきたいと思ひます。



第15回 税に関する絵画がきコンクール
入賞作品


審査会
特別賞

最優秀賞



伊賀須小 岩崎 匠平
Iwano Ryohei

嘉飯租税教育推進協議会会長賞



藤原小 原田 紗田瑠
Arimura Ritsuko

飯塚税務署長賞



伊賀須小 保坂 希乃羽
Hironaka Hinata

公益社団法人飯塚法人会女性部会長賞



藤波東小 遠藤 ゆな
Tachibana Yuna

公益社団法人飯塚法人会会長賞



幸徳小 田中 麗羽
Nakayama Rina

公益社団法人飯塚法人会青年部会長賞



片原小 永水 盛莉
Nagasaki Erika

健康で豊か暮らしのための税金



伊賀須小 原元 健治
Hara Kenji

税金のつらさ



藤井 星野 綾
Hoshino Ryohei

税金のつらさ



内藤小 平井 杏葉
Hoshino Ryohei

みんなの税金



飯塚城西小 西村 菜乃葉
Nishimura Rina

生活を支える税金



藤原小 梅津 結愛
Umezaki Meiwa

税金はみんなの暮らしを支える



片原小 田原 心結
Arimura Ritsuko

税金はみんなの暮らしを支える



掛川小 野 希愛
Hoshino Ryohei

みんなの暮らしを支える税金



掛川小 村松 麗菜
Arimura Ritsuko

税金はみんなの暮らしを支える



幸徳小 中道 紗菜
Hoshino Ryohei

税金のおかげでみんなの暮らしが豊かになる



藤田小 大久保 彩明
Hoshino Ryohei

税でつながる



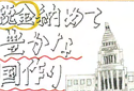
上穂波小 森本 紗千乃
Morikawa Sachiho

いろいろなことに使われる税金



下山小 横山 侑生
Hoshino Ryohei

税金納付で豊かな国作り



大分小 友尾 晃大
Hoshino Ryohei

税金のおかげでみんなの暮らしが豊かになる



藤田小 清貞 祐沙
Hoshino Ryohei

税金がみんなの暮らしを支える



藤波東小 山本 実
Hoshino Ryohei

税金のおかげでみんなの暮らしが豊かになる



原小 岡松 心海
Hoshino Ryohei

税金のおかげでみんなの暮らしが豊かになる



葛小 宮本 批和
Hoshino Ryohei

公益社団法人飯塚法人会に福岡国税局長からの感謝状が授与されました 【租税教育推進校等表彰（租税教育推進団体表彰）】

当飯塚法人会では、令和6年の「税を考える週間（11月11日～17日）」において、福岡国税局長からの感謝状を城島陽一飯塚税務署長から頂きました。

これは、当飯塚法人会の租税教育活動への理解を深めてもらうことができる社会貢献活動として、租税教室等の開催にとどまらず、行政や学校関係者、企業等の協力を得て、管内の小学校6年生を対象とした「こどもくらしっくコンサート」を開催し、感受性豊かな子どもたちに夢や希望を与える音楽と税の啓発活動を融合させた行事を長年継続していることや、「税に関する絵はがきコンクール」を主催し、応募作品を飯塚信用金庫やイオン穂波店を始め、確定申告会場に展示するほか、中学生の「税に関する作文」の審査・表彰にも参画するなど、次代を担う子どもたちへの租税教育活動に取り組んでいることが福岡国税局長から認められたものです。

今回の表彰を受け、これまで以上に租税教育の充実を図ってまいりますので、会員の皆様方におかれましても、是非ご協力いただきますようお願いいたします。



城島陽一税務署長 博島典仁会長 堤由美子女性部会長 深田隼市青年部会長

令和6年度「税に関する高校生の作文」受賞者一覧

賞	題名	氏名	学校名	学年
飯塚税務署長賞	子ども食堂から考える税金	高山 心 隼	福岡県立福築志耕館高等学校	2
飯塚税務署長賞	税は日本の大黒柱	奥田 みゆ	福岡県立嘉穂高等学校	1
飯塚税務署長賞	それで十分	川端 麻心	福岡県立嘉穂高等学校	1
福岡県飯塚・直方県税事務所長賞	日常生活と税のつながり	中川 みさ 咲	福岡県立嘉穂高等学校	2
福岡県飯塚・直方県税事務所長賞	災害大国である日本を支えているもの	岩本 理 玖	福岡県立嘉穂高等学校	1
飯塚税務署管内税務連絡協議会会長賞	私たちの大きな使命	高橋 ほのみ	福岡県立嘉穂高等学校	1
飯塚税務署管内税務連絡協議会会長賞	日本の税金の利点	西島 ほのか	福岡県立嘉穂高等学校	2
嘉穂租税教育推進協議会会長賞	税の意義と役割について考えたこと	塚田 真佑生	福岡県立福築志耕館高等学校	2
嘉穂租税教育推進協議会会長賞	妹からの一言	頼 金 紗 羅	福岡県立嘉穂総合高等学校	1



飯塚税務署長賞

題名:子ども食堂から考える税金

福岡県立福築志耕館高等学校 2年 高山 心練

私は高校のボランティア部にて、子ども食堂の活動に参加している。活動内容は、昼食作りや配膳、利用者さんとの交流だ。調理に使う食材は、お店から寄付される規格外の野菜や、運営者が持参したものである。運営スタッフさん方は対応や業務に追われ、調理はもっぱらボランティア部の担当になる。看板書きや道案内もするため忙しい。利用者さんは、選んでいてご飯を食べに来た子どもや、部活動の学生、スタッフさんと話す事が目的の親御さん、近所の方など様々だ。子ども食堂に対し、ご飯が食べられず困っている子や、家にいるのがしんどい子が来るなどのネガティブな印象があったが、ボランティアとして関わるにつれ、地域の交流の場として賑わうポジティブな印象へと変化した。

子ども食堂の始まりは二〇一二年東京都にある八百屋さんの店主、近藤博子さんである。地域住民や自治体が主体となり、子どもたちに無料または低価格で食事を提供する子ども食堂には主に四つの目的がある。一つ目は子どもの食育活動だ。食に関する体験や知識を増やし、共働きや一人親世帯の孤食になりがち子どもには、みんなでご飯を食べる共食の場となる。二つ目は地域交流の為に、ご近所付き合い、繋がり作りの場としての利用である。三つ目は子どもの貧困対策だ。貧困による問題の一部を食事の提供によってサポート出来る。四つ目は一人じゃない、と安心できる子どもの居場所の提供である。

子ども食堂の課題には、運営スタッフの確保・運営費の確保・来てほしい家庭の子どもや親に来てもらうことが難しいことなどが挙げられる。これらの課題を抱える子ども食堂に対しての支援方法として、食材の寄付やNPO団体・ふるさと納税を通じた寄付金がある。またボランティアスタッフとして参加する事も支援になる。スタッフが増えれば、広く継続的な情報発信も可能になるだろう。

この二〇一二年に始まった子ども食堂が各県や市町村において、新しい税金の使い道として採用されてきている。北九州市では、市内に子ども食堂の新設を予定している団体や既存団体に対して、活動支援の助成を行っている。ハード面では、施設の修繕・改修などの開設に関わる費用、ソフト面では、賃料・消耗品費・水道光熱費・食材費などの運営に関わる費用を、それぞれ最大二〇万円を上限に保障する制度だ。

助成金として税金が使われることで、子ども食堂が開設しやすい環境が整ってきている。一人の女性が起こした行動が全国に広がり、行政の支援を得るまでに成熟したのだ。しかし、大切な事はこの活動を行政と子ども食堂の運営者だけのものにならないことだ。そのため、私は今後もボランティア活動を通して子ども食堂と関わり、税金が何に使われ、どのように有効活用されているのか自分の目で確かめると共に、子ども食堂がより利用されやすい場となるように協力していきたい。



飯塚税務署長賞

題名:税は日本の大黒柱

福岡県立高穂高等学校 1年 奥田 みゆ

「高校ってこんなにお金がかかるの?」

私が高校に入学してから、こんな話題が私たちの家族の中ではよくあがってきている。私はこの話題を聞くたびに「税」ということが思い浮かぶ。日本では、教育費に力を入れ、税金を使った方が良いという意見と年金や社会福祉に使った方が良いという大きく二つの意見に分かれると考える。

結論として私は、教育費に力を入れるべきだと考える。私が現在義務教育を終え、高校に進学したことで高校でどれくらいの費用がかかるかは身にしみて感じている。文部科学省の資料によると、公立の小・中・高校では年ごとに約百万円程度かかることと示されていた。日本では現在、小・中学校での費用はほとんどが税金で賄われていることをご存知だろう。さらに最近では、奨学金や支援金、授業料免除など家庭によって自分の進みたい道に進みやすいような援助がされている。

しかし、現代の日本では大学に進学する学生が多いのもデータ等から目に見えて分かるだろう。そこに対しての援助はどうだろうか。私はまだ援助が足りないのではないかと考える。その根拠として、このような話を聞いたことがある。「大学のときに借りた奨学金を十五年かかってやっと返済終わった」その人が特別学費が高い大学に行った訳ではない。日本は今このような現状を抱えているからこそ、より高い質の教育を受けたいという人は沢山いるはずだ。私はこれから先、持続可能な社会を作っていくためにそのような日本を変えていく卵の存在を大切にしていこうと考える。税金はそういう子供たちの未来への架け橋となり、切符となるのだ。

だが、この話題を高齢者に聞かかけたときに同じ答えは返ってくるだろうか。私はそうではないのではないかと考える。私たちが若者が考えている高齢者と高齢者が考える理想の生活とは大きな差があり、少子高齢化が進む日本が抱える高齢者に対する問題も深刻だからである。少子高齢化によりヘルパーの不足や若者一人が支える高齢者の人数の割合も増加している。これは日本の課題であり、問題である。そのため、日本が力を入れるべきところもある。

だが、先ほども述べたように私は教育に力を入れるべきだと考えている。私が考える理想像は若者がきちんと税の存在に感謝しながら教育を受けている姿だ。そのため私たちが若者はこのような現実を知るべきなのではないだろうか。教育に関して私たちはさまざまな選択肢から選ぶことができ、さまざまな支援を受けることができる現状にいます。このような現状は全て「税」によって成り立っているのだ。「税」は私たちの生活の大黒柱であり、必要不可欠なものなのである。私たちは「税」に感謝しながら生活する必要があるのではないだろうか。

令和6年度「税に関する中学生の作文」受賞者一覧

賞	題名	氏名	学校名	学年
福岡国税局長賞	挑戦を支える税金	うま ^ま だ ^だ 上田 ころこ	桂川町立桂川中学校	3
飯塚税務署長賞	税について私が思うこと	まえが ^が り ^り 前川 由奈	飯塚市立飯塚第一中学校	2
飯塚税務署長賞	増税は悪か	いさ ^さ や ^や 鎌山 結希	嘉麻市立稲葉西義務教育学校	9
飯塚市長賞	税金の大切さとは	たけ ^け の ^の 竹内 璃羽	飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校	9
嘉麻市長賞	税を支える力	も ^も の ^の 井 陽月	嘉麻市立礎井義務教育学校	9
桂川町長賞	税金で支えられる毎日	せ ^せ の ^の 里見 莉央	桂川町立桂川中学校	3
公益社団法人飯塚法人会会長賞	本当に税金はいらないのか	あ ^あ ま ^ま 岡松 柚希	福岡県立重穂高等学校附属中学校	3

福岡国税局長賞

題名: 挑戦を支える税金

桂川町立桂川中学校3年 上田 ころこ

私がフィリピンに留学できたのは、税金を使って援助してくれたおかげです。この経験はただの海外体験ではなく、税金の役割や意味を深く考えるきっかけになりました。

フィリピンに到着して驚いたのは、街の風景の違いでした。大きなショッピングモールや高層ビルの裏には、壊れかけの家や路上で生活する人々が居ました。そこでは、日本ではあまり目にしない大きな貧富の差がありました。初めてこのような風景を見て、胸が痛くなりました。そんな中で聞いた現地のパサゴイドの言葉は、心に残っています。

「フィリピンは貧富の差が大きいです。貧しい人達はあなた達のように海外へ留学する機会もありません。私が初めて日本に来たとき、帰りたいと思いました。それは、誰もにチャンスがある社会だからです。フィリピンには自分のしたいことができない人達がたくさん居ることを忘れてください。」

その言葉を聞いたとき、日本とフィリピンの違いが分かりました。フィリピンでは家庭の経済状況が子供の未来に大きく影響します。一方日本では影響はありますが、みんなから集めた税金が教育や国際交流の事業に使われ、誰もが平等に学びや挑戦の機会を得られるようになっています。私はこの違いを感じ、自分がどれほど恵まれた環境に居るのか、気づくことができました。もし税金が無ければ、フィリピンの人々の暮らしに触れることも、パサゴイドさんの言葉に出会うことも無かったと思います。

税金は道路や学校の設備など、生活を支えているというイメージが強いですが、それだけではありません。税金という仕組みがあることで、私達は挑戦の機会を得ることができました。税金によって私達の「やりたいこと」が応援されているのです。そして、挑戦する環境を与えてもらっていると感じられることと自分が、とても幸せなことだと思います。

この留学を通して、もっと学びたい、興味を持ったことに何でも挑戦したい、そして「与えられたチャンスを大切にしたい」と強く思いました。税金が無ければ得られなかったこの貴重な経験を、これからの学びに活かし、色々な視点で周りのことを見られるようになりたいです。そして将来は、自分も働いて、税金を通して誰かにチャンスを届けられるような大人になりたいです。税金は単なるお金ではなく、私にとって「感謝の気持ち」であり、「誰かの挑戦を支えるための仕組み」です。

飯塚税務署長賞

題名: 税について私が思うこと

飯塚市立飯塚第一中学校2年 前川 由奈

私は税金が高いと思ったことはありません。なぜなら、小学校の時から毎年、授業を受け学んできたからです。よく大人が「税金を無くそう」と言っていますが、それは違うと思います。

例えば税金が無くと、義務教育は無くなるので、私達は今のようには学校に行けず、十分な知識を得られずに大人になってしまいます。また、水道や道路が老朽化したままだと、安全に過ごすことができません。消防や警察に助けを求めることも有料になってしまいます。病院の医療費においても税金を使用している場合があるため、高額となり、今のように簡単には行けなくなります。当たり前が当たり前でなくなるのです。私は、今までずっと「みんな平等」だと習ってきました。しかし、税金が無くなるだけで、経済格差が悪化してしまい、助かる命も助からず、お金に余裕のある人だけが人間らしい生活ができ、貧しい人は勉強をすることもできません。こんな状態だと、経済が低迷し続けていくことや、日本でも暴動が起きることが予想されます。

しかし、税金が高すぎると不満に思っている人が大勢いるのも事実です。以前、税の学習で個人で稼いだお金から、その稼ぎに対して「所得税」が課せられると学びました。所得税は個人の所得が高くなるに従って税率が高くなるという公平な仕組みですが、その当時は自分の稼いだお金を全て使えなさと知り衝撃を受けました。私はまだ、実際に頑張って稼いだお金から税金を引かれる経験をしたことが無く、税金の負担の大きさを感じる機会がありませんでした。しかし、学校へ通っている中で、小学校の時是一年間で一人あたりおよそ九十二万一千円、中学校は百六万七千円、税金から負担されていると知りました。税金の負担が大きいと感じる

人がいるかと思いますが、税金のおかげで私達は無償で授業を受けることができます。私は、税金を納めることは、今、学校に行けて充実した日々を送れるだけでも、それが将来へと繋がっていくので、十分価値のあることだと思います。

だから私は税金が高いと思ったことが無いのです。このころ、税金は無くなったほうがいいと思う人が多くいますが、私は、税金は無くなるべきではないと思います。税金は私達が安全に幸せに暮らしていけるように支援してくれています。私が大人になったら、税金の重要性を次の世代に伝え、私が支援してもらっていた分、たくさん税を納め、社会に貢献し、未来の子ども達に繋がるように頑張っていきたいと思っています。そして、一人ひとりが税金と向き合い、全員が人間らしく暮らしていけるような社会になってほしいと思います。



飯塚税務署長賞

題名:増税は悪か

高麻市立福築西義塾教育学校 9年

諫山 結希

最近、身の回りで減税、増税という言葉をよく耳にする。ニュースでは、消費税などの減税、増税を各党の政治家が政策として打ちだしていたり、ネットでは政治家の増税を批判し、減税を求める場面をよく見かける。私はそのたびに思う、増税とはそんなに悪いものなのか、と。

学校では「税として得たお金は私達の生活に役立てられている」と学んだ。ならば増税で金は取られるものの、その分社会保障などで返ってくるのなら問題ないのではないかな。ならなぜ多くの日本人は増税に反対しているのか、そんな疑問を解決するために、私は税についてネットや本などで調べてみることにした。すると、この疑問には政治、制度、教育という三つの問題が関係していることが分かった。

この中でも特に気になったのは、私たちが中学生に最も身近な教育の面である。日本で税金などの金融教育が本格的に始まったのはごく最近のことであり、それを実施している学校の割合も依然として高いとは言えない。これは他の先進国と比べて遅れており、量、質とも不足している状況だ。このような教育の不足により、税金がなぜ必要なのか、どのような分野に使われ、自分たちにとどのような恩恵があるのか、といった基本的な知識が不足してしまう。その結果、増税に対して「お金を取られるばかりで損をしている」という感情的で知識に基づかない反発が生まれやすくなってしまふ。また、税金に関する政策の目的や背景が理解されにくくなり、反対意見を述べた際にも「よく分からないが、とりあえず反対」といった表面的な反発にとどまってしまう。これでは建設的な代替案を提案することは困難である。

これらの課題を改善するためには、学校での金融教育を充実させることが有効だ。しかし、それ以外にも私たち自身にできることがあると考える。例えば、ニュースを見た際、実際に受け身でいるのではなく、自分なりの疑問を持つこと。その疑問をそのままにせず、ネットや本で調べたり、親や教師など身近な大人に質問したりする。そして得られた情報から自分なりの意見を持つ。これを通じて、税金だけでなく社会全般に対する関心と知識を深めることができるだろう。

税金について知ることは、社会を知る第一歩だと思う。現在の日本は少子高齢化、環境問題、経済格差など様々な問題を抱えている。自分たちが生きている社会に目を向け、社会を理解しようとする努力を初めて、身の回りの課題に気づくことができる。税金もその一つである。課題に気づき、知識を得て、考え、そして行動する、このサイクルこそが、より良い社会を築く基盤となるのではないだろうか。



公益社団法人飯塚法人会長賞

題名:本当に税はいらないのか

福岡県立高橋高等学校附属中学校 3年

岡松 柚希

「消費税は廃止するべきである」

最近よくこのような発言を耳にする。消費税の廃止を政策に掲げる政治家や、増税に反対する声が多いように感じる。確かに税があることで、税金が定価より高くなったり、本来もらえるはずの給料から実際の手取りは減るというデメリットなど様々な所不満を抱えている人も少なくないだろう。実際私もマイナスなイメージを持っていた。しかし、税の使い道について詳しく知った時、税についての考えが大きく変わった。税について詳しく知ることで見解を広げることができた。だからこそみんなにも知ってほしい。もしも税金がなくなると、どのような社会になるのか。

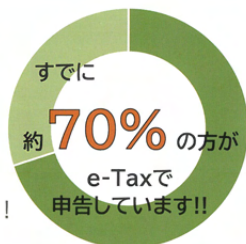
実際に、税金がないとどうなるのか気がかりなところがある。とある本で、税金が負担が少ない国としてシンガポールの例を見た。シンガポールには「タックスリベート」という税制優遇制度があったり住民税、相続税、贈与税がなかったりする。一見とても魅力的に思っただろう。日本はアジア圏の中では住民税、所得税が高い国であり、通常の日常生活の中で税負担を大きく感じる人も多い。しかし税金が安ければ必ずしも良いとは限らない。道路、橋、上下水道、病院、教育機関、警察機関などの公的サービスは、税金により維持されている。そのため、税金で公的サービスを賄えなくなると道路や橋の整備にも通行料を取られ、医療費も高額になってしまふ。加えて義務教育を平等に受けられない上に、警察機関にも影響が生じ治安の悪化や調査、逮捕のためにお金を払って警察官を雇うか自分で対処するしかなくなる。このように税が安くなると賄えない部分が生まれ、生活が不自由になっていく。これを本当に幸せと呼べるだろうか。私達は税金というお金を支払うことによって「豊かで利便性の高い生活」を獲得しているといえるだろう。

日本は、水道水が飲める国として有名だ。また医療保険や年金、雇用保険もアジア諸国ではとても高い水準となっている。これらも全て税金があるおかげだ。税金は国民が豊かに安心して暮らしていくために使われている。私達の幸せな生活の地盤を支えているのも税金である。ちょっとした体の異変でも手軽に病院に行けるのも、警察の方々が安全を守り治安が保たれているのも、税金で賄われているからである。ここで聞きたい、本当に税はいらないのだろうか。本当に廃止しても良いのだろうか。もちろん皆様々な思いを抱えていると思う。しかし一度税の使い方について知り、普段の生活の中の細かな所に当てはめていくことで税金が身近に感じられると思う。税と共に生きていくことの大切さを噛みしめて、税の良いところをもっと広めていきたいと私は思う。

税務署からのお知らせ

書かない確定申告！ マイナンバーカードでe-Tax

確定申告書等作成コーナーなら金額等を
入力するだけで**自動計算**で確定申告書が完成！



確定申告の作成は
こちらから



作成コーナー



スマホ申告が
さらに便利に

確定申告書の作成画面が見やすく、
入力がしやすくなりました！

～申告に困ったときは～

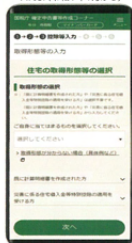
動画で見る確定申告

申告書の作成方法などを動画でご案内！



確定申告 動画

After(令和7年1月から)



※ 住宅ローンを控除する場合は

マイナポータル連携で自動入力

～マイナポータル連携のメリット～

- ✓ 医療費の領収書等の収集や集計が不要
- ✓ 確定申告書の該当項目へ自動入力
- ✓ 作成した確定申告書をe-Taxで送信
- ✓ 書類の管理・保管が不要



マイナポータル連携
の詳細はこちら



証明書等のデータ

マイナポータル経由で
データを一括取得



確定申告書に
自動入力・自動計算

ご自宅から
e-Taxで送信



税務署

飯塚法人会のご案内

■ 法人会とは？

良き経営者をめざす経営者の集まりです！

法人会は税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体です。全国各地に440単体会があり、全国の会員企業は70万社です。

公益社団法人飯塚法人会は、飯塚税務署管内（飯塚市、嘉麻市、桂川町）の企業など、約1,000社（正会員）が加入、青年部会、女性部会も活発な活動を展開しています。

■ 事業案内

☆ 税務知識及び納税意識高揚を目的とする事業

税務署担当官による税制改正説明会、決算説明会、新設法人説明会等を行っています。また、小学6年生の租税教室は、青年部会・女性部会が講師を務めています。



決算説明会



税制改正説明会



租税教室

☆ 税制・税務に関する調査研究や提言

税制改正の提言は、全国の440法人会から提出された中小企業税制等の税制改正要望事項を基に、全国法人会総連合が取りまとめたものです。飯塚法人会では管内の行政、議会、地元選出の国会議員に提言活動を行っています。



税制改正の提言

☆ 青年部会活動

青年部会は、地域社会への貢献事業として「こどもくらしっくコンサート」を開催しています。また全国の青年部会員が参集する「青年の集い」は、意見交換、情報交換の場でもあり積極的に参加するとともに、会員相互の交流を目的に諸事業を開催しています。



☆ 女性部会活動

女性部会は、租税教室の一環として「税に関する絵はがきコンクール」を中心に、全国の女性部会員が集まる「全国女性フォーラム」への参加や会員相互の交流と研修を兼ねた視察会を行っています。



☆ 経営に関する研修会

リスクマネジメントセミナーや景況特別講演会を開催しています。

☆ 地域社会へ貢献事業

青年部会主管の小学校6年生を対象とした「こどもくらしっくコンサート」や著名な講師による「新春特別講演会」を開催しています。また、会員交流事業として賀詞交歓会も開催しています。

☆ 会員企業・経営者・従業員を守る、法人会独自の福利厚生制度

大同生命保険(株)・AIG損害保険(株)・アフラック生命保険(株)による提携制度は、団体割引として加入できます。

■ 飯塚法人会の新会員を募集しています！



公益社団法人

飯塚法人会

入会のお申込・お問合せ

TEL 0948-28-8100

飯塚法人会

E-mail: iho@dream.ocn.ne.jp

